

人事委員会議事録（第1614回）

1 開催日時

令和元年 8 月 5 日（月） 15：00～16：10

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	竹田佑一	委員
	鈴木尉久	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	門田高弘	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第 1 号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第 1613 回）について審議の結果、原案どおり承認した。

第 2 号議案

再審請求の裁決の件（平成30年（不）第 1 号事案）

任用課長が、平成 30 年（不）第 1 号事案の令和元年 7 月 25 日付け再審請求の裁決書（案）について説明し、審議の結果、原案どおり裁決した。

第 3 号議案

兵庫県職員資格免許職採用試験 1 次面接試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表予定日（8 月 6 日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

看護師の採用選考試験は病院局に委任しているが、同じく県立病院で勤務する医療技術職の採用試験を委任していないのはなぜか。

（事務局）

これらの職種は、配属先が県立病院ではない場合もあるため、人事委員会で採用試験を実施している。

(委員からの質問)

職種によっては倍率が高いものと低いものがあるがなぜか。

(事務局)

例えば、作業療法士は本人が希望する専門分野（急性期等）を持っており、異動によって職務内容が変わる県立病院は敬遠されやすいと聞いている。

(委員からの質問)

臨床検査技師は倍率が高いがどのような仕事をするのか。

(事務局)

血液や尿検査、病理診断の標本作製などを行う。

第4号議案

障害のある人を対象とする兵庫県職員採用選考試験実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員からの質問)

障害者の方の採用は難しい。特に知的や精神の方を採用するとなれば、それなりの仕事内容やサポート体制を準備する必要があると思うがどうか。

(事務局)

今回の選考試験はあくまでも高卒程度の事務に従事できることが前提であり、特別な準備はしていない。

(委員からの質問)

病院局は雇用率が達成できていないが、何か考えているのか。

(事務局)

現時点ではどうするかは聞いていないが、医療看護の現場ということもあり、体力的にも難しい面があるようである。

(委員からの意見)

対象を拡大して初めての試験ということなので、受験者の状況をよく把握したうえで試験を行い、反省点は来年度以降につなげてもらいたい。

協議事項1

審査請求（平成31年（不）第1号事案）の処理方針

任用課長が標記事案について説明し、協議したところ、求釈明書の内容を一部修正のうえ決定した。

報告事項1

兵庫県職員行政Bガイダンスの開催結果

任用課長が、8月1日に実施した標記ガイダンスの開催結果を報告した。

(委員からの質問)

参加者の学年はどうだったか。

(事務局)

参加者84名中、高校3年生が31名、専門学校の2年生が28名であった。なお、当日は県下各地域から出席があった。

報告事項2

任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会が行った1件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

閉 会